

特集 保活最新事情2022～希望の保育所に入所するための秘訣とは

4月からの認可保育所への入所申込数が、大都市などで昨年に引き続き減少傾向にあることがわかりました(朝日新聞調査)。保活事情を分析する上で、押さえておきたいのは、毎年の出生数です。

コロナ禍の感染不安や雇用環境の悪化などが出生数を低下させ、保育所への入所申込数が減少していると言えるでしょう。ただ、昨年より1次選考の落選率が上昇するなど、自治体による差が出ています。

前半は、朝日新聞の調査結果から、後半は、マザーネットの保活コンシェルジュサービス利用者の声やデータの分析結果から、今年4月の保活について最新事情をお伝えしたいと思います。

年	出生数	前年との比較
2018	918,397	▲27,668
2019	865,234	▲53,163
2020	840,835	▲24,399
2021(見通し)	81万人程度	▲3万人

1. 保育所入所の現状～認可保育施設 1次選考の落選率

●昨年4月時点で50人以上の待機児童がいた自治体の場合(朝日新聞調査による)

<2021年> 落選率が最も高かったのは、沖縄県八重瀬町で42%。兵庫県尼崎市も4割を超えた。

	落選率	申込者数	内定者数	前年比較
1 沖縄県八重瀬町	42	527	306	↙
2 兵庫県尼崎市	40	2,410	1,446	↙
3 東京都小平市	36	1,331	852	↙
4 兵庫県西宮市	35	3,043	1,978	↙
5 鹿児島県鹿児島市	34	3,435	2,267	↗
6 兵庫県姫路市	32	2,848	1,937	↗
7 沖縄県南城市	27	578	422	↘
8 東京都調布市	25	1,781	1,336	↘
9 沖縄県沖縄市	25	1,398	1,049	↘
10 千葉県船橋市	23	3,570	2,749	↘

前年比較

11 沖縄県那覇市	21	2,637	2,083	↙
12 沖縄県南風原町	20	698	558	↙
13 東京都町田市	19	2,277	1,844	↙
14 福岡県福津市	15	519	441	↙
15 沖縄県豊見城市	9	3,401	3,095	↙
16 兵庫県宝塚市	回答せず	1,556	-	↙
17 福岡県筑紫野市	回答せず	2,374	-	↙

前年比較

※船橋市・鹿児島市は転園含む。筑紫野市・豊見城市は継続・転園含む。明石市・宝塚市は落選率を回答せず。

※2021年は、前年春の待機児童数が100人以上だった自治体を調査。



<2022年> 福岡県太宰府市は55.3%と半数を超え、次いで千葉県君津市(49.2%)、兵庫県尼崎市(39.7%)。

担当者は「大都市に通勤する子育て世帯のニーズが高い」(太宰府市)、「保育士不足で、園の受け入れ可能数が減っている」(君津市)などの理由を挙げている。

	落選率	申込者数	内定者数	前年比較
1 福岡県太宰府市	55.3	291	131	↑
2 千葉県君津市	49.2	453	231	→
3 兵庫県尼崎市	39.7	2,489	1,493	↗
4 鹿児島県鹿児島市	37.3	3,269	2,059	↗
5 神奈川県座間市	36.3	586	375	→
6 東京都三鷹市	34.8	1,226	797	→
7 兵庫県西宮市	34.7	3,097	2,013	↘
8 千葉県印西市	26.9	871	636	↗
9 東京都小平市	26.0	1,182	875	↘
10 千葉県木更津市	25.8	625	463	↘

前年比較

11 沖縄県名護市	25.0	636	477	↗
12 沖縄県豊見城市	24.7	924	693	↘
13 兵庫県姫路市	24.3	2,748	2,088	↘
14 東京都町田市	21.6	2,169	1,692	↗
15 沖縄県八重瀬町	6.6	1,856	1,726	↘
16 愛知県岡崎市	回答せず	-	-	↗
17 兵庫県宝塚市	回答せず	1,513	-	↗
18 福岡県筑紫野市	回答せず	-	-	↗
19 兵庫県明石市	回答せず	-	-	↗

前年比較

※鹿児島市・八重瀬町は転園含む。筑紫野市・岡崎市・宝塚市は落選率を回答せず。

●東京23区と政令指定都市の場合

<2019年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1	港区	52.2	1	岡山市	34.2
2	世田谷区	40.2	2	札幌市	33.6
3	台東区	40.0	3	川崎市	32.4
4	中央区	39.9	4	さいたま市	31.9
5	江戸川区	37.5	5	神戸市	30.2
6	渋谷区	34.6	6	熊本市	27.9
7	中野区	33.8	7	北九州市	27.8
8	江東区	32.3	8	浜松市	27.4
9	文京区	31.5	9	大阪市	26.8
10	千代田区	28.9	10	横浜市	25.2
11	墨田区	28.4	11	相模原市	22.4
12	目黒区	28.3	12	仙台市	21.9
13	大田区	27.7	13	堺市	21.7
14	練馬区	27.1	14	福岡市	21.7
15	品川区	27.0	15	千葉市	17.1
16	足立区	25.9	16	静岡市	16.9
17	北区	23.5	17	京都市	12.1
18	板橋区	22.8	18	新潟市	3.5
19	新宿区	22.6	<調査概要>		
20	杉並区	22.0	実施:朝日新聞本社		
21	荒川区	20.6	時期:2019年3月		
22	豊島区	20.5			
23	葛飾区	16.7			

※名古屋市、広島市は回答せず。大阪市、堺市、京都市、神戸市は転園を含めて回答。

※台東区は転園を含め、江戸川区は私立のみで回答。目黒区は家庭福祉員内定者を含む。中野区は3月4日時点。



<2020年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1	港区	41.0	1	岡山市	36.1
2	台東区	39.5	2	熊本市	32.9
3	中央区	39.4	3	浜松市	32.8
4	品川区	38.6	4	さいたま市	31.8
5	世田谷区	36.4	5	札幌市	31.3
6	江戸川区	30.5	6	川崎市	30.8
7	墨田区	28.6	7	神戸市	29.4
8	中野区	27.3	8	大阪市	29.0
9	江東区	26.5	9	横浜市	25.1
10	新宿区	25.5	10	千葉市	21.6
11	渋谷区	25.2	11	福岡市	20.1
12	大田区	24.8	12	相模原市	19.9
13	文京区	24.4	13	堺市	19.4
14	練馬区	23.4	14	仙台市	18.6
15	目黒区	23.3	15	静岡市	14.8
16	板橋区	23.2	16	京都市	11.9
17	新潟市	5.9	17	新潟市	5.9

<調査概要>

実施:朝日新聞本社

時期:2020年3月

※台東区、品川区、江戸川区は転園希望者を含めて回答。世田谷区は転園希望者、継続利用者を含めて回答。



<2021年>

<2022年>

東京23区		前年比較	政令20市		前年比較
1	港区	38.0	1	広島市	28.6
2	世田谷区	30.8	2	熊本市	28.3
3	台東区	25.7	3	岡山市	25.2
4	品川区	25.3	4	神戸市	24.9
5	中央区	23.8	5	大阪市	24.4
6	江戸川区	22.5	6	浜松市	24.1
7	墨田区	22.2	7	札幌市	22.6
8	足立区	21.5	8	相模原市	22.4
9	大田区	21.4	9	川崎市	22.0
10	新宿区	21.3	10	横浜市	21.8
11	江戸川区	20.2	11	さいたま市	20.3
12	目黒区	20.0	12	北九州市	19.8
13	練馬区	18.9	13	千葉市	18.6
14	板橋区	18.8	14	堺市	16.8
15	墨田区	18.4	15	仙台市	14.6
16	世田谷区	16.3	16	福岡市	14.2
17	新宿区	16.0	17	静岡市	12.5
18	中野区	15.9	18	京都市	10.4
19	江東区	15.2	19	新潟市	4.8
20	墨田区	14.8	20	新潟市	4.8
21	世田谷区	14.6	21	新潟市	4.8
22	練馬区	14.4	22	新潟市	4.8
23	大田区	10.8	23	新潟市	4.8

<調査概要>

実施:朝日新聞本社

時期:2022年3月

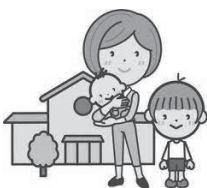
※名古屋市は回答せず。

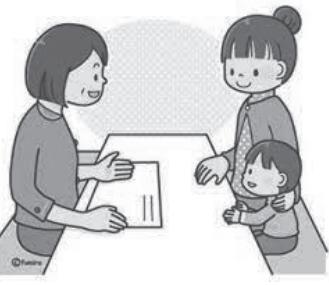
※さいたま市、相模原市、京都市、広島市は転園・継続含む。

※名古屋市、広島市、北九州市は回答せず。堺市は転園含む。

※台東区は転園含む。

2. 希望の保育所に入所出来た人の保活とは ~マザーネットに寄せられた声より

	関東	関西・その他
情報収集	<p>子育て支援センターで会うお母さんから情報がもらえる</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体の保育課に何度か行くことで情報が得られたり、子育て支援センターで会うお母さんたちから情報がもらえることもあります（東京都渋谷区）。 <p>行政の補助金を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 区によっては、認証・認可外保育所に入所させると補助金が出るケースもあり、所得によっては保育料が安くなることもあるので、調べる価値はあると思いました（東京都練馬区）。 <p>産休に入る前に、先輩ママとコンタクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 復帰の際の勤務形態（フルタイムか時短か）は、産休に入る前にある程度考えておいた方が良いと思います。参考にしたい先輩ママが社内にいても、休業中はコンタクトがとりづらいため、予め情報収集することは重要だと思います（神奈川県川崎市）。 <p>自治体の頼りにできる担当者を探す</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体では担当者によって発言が異なったり、詳しく教えてくれたりと差が大きいので、頼りにできる担当者を探すことも大切です。当方は夫婦で協力して数回自治体に問い合わせを行い、頼りに出来る担当者を探しながら、情報収集しました（東京都品川区）。 	<p>同年齢の子が集まる地域の遊び場で情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域でやっている育児支援相談センターや同年齢の子が集まる地域の遊び場も活用して、色々な方と話すとたくさんの情報が得られます（京都府亀岡市）。 <p>行政による保育所への立ち入り検査の結果をチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋市は公表していないかったので情報公開請求をかけたところ、家から一番近い保育所で慢性的に保育士が足りておらず、毎年のように指導を受けていたことなどがわかり、とても有力な判断材料になりました。開示決定には2ヶ月ほどかかったので、ある程度余裕を持って手続きすると良いかと思います（愛知県名古屋市）。
行政のHPのチェック	<p>前年度の利用案内を読んでおく</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めての保活の場合は、前年度の利用案内などを読んでおくと、どんな資料がいるのかが分かり、焦らないで準備が出来ます。特に引っ越し等がある場合、書類を請求するのに時間がかかるのでなお良いです（横浜市神奈川区）。 <p>前年度の入園情報が掲載されているうちに保存しておく</p> <ul style="list-style-type: none"> 区のHPに前年度の入園情報（世田谷区ですと、昨年度の各園ごとに第一希望を希望した人数が記載されていました）が掲載されており、保活の上でとても有用な情報だったので、確認されることをお勧めします（東京都世田谷区）。 <p>東京都の認可外保育所情報は、東京都のHPに掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所の空き状況は刻々と変化するので、情報更新時には必ずチェックが必要です。東京都の場合は、認可外保育所は東京都HPに掲載されています。新規の認可外保育所も増えているのでこまめにチェックしていくとよいと思います（東京都大田区）。 	<p>前年度の合格最低点数を参考に希望順を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所が公表している前年度の合格した最低点数を参考にして希望順を考えました。どの保育所も点数が60点ばかりでしたが、自分の希望に近い園の点数が唯一低かったので、そこを高い順位に入れて落ちることがないようにしました（大阪府高槻市）。
夫の役割	<p>保活はパパにやってもらうのが、パパになる心の準備として良い</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠、出産は女性にしか体験できないですが、保活はパパが主体的にできることだと思うので、保活はパパにやってもらうのが、パパになる心の準備としても良いと思います。うちの夫はエクセルで地図を貼ったり、条件を比較したり、保育所情報をまとめる表を作っていました（東京都目黒区）。 	<p>夫婦で話し合い、どのような方針で保育所を選ぶかを言葉にして明確にすることが重要</p> <ul style="list-style-type: none"> たとえば、保育方針は夫婦間の子育ての方向性と一致しているか、誰が何をメインに対応するか（送り迎えや毎日の荷造り、洗濯、園とのやり取り）。時に衝突することもありますが、特にテレワークがメジャーになり、夫婦で子育てが出来る環境の今、どちらかに任せるのではなく、男性も当事者意識を持って、腹を割って話す必要があると思います。そのための事前準備としては、各自治体での制度の理解、認可・認可外保育所の理解、候補保育所の選定などがあげられます。事前準備は時間をかけてでも綿密に行い、実際の保育所見学の際、質問したい内容も一緒に夫婦で考えることをお勧めします（大阪府守口市）。
2人目の保活		<p>2人目以降の保活でも、改めて最新の情報をしっかり調べるべき</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人目の時にはなかった園が出来ていたりします。見学も、上の子の時はルールや雰囲気が変わっていたりするので、必ず行くべきです（兵庫県西宮市）。

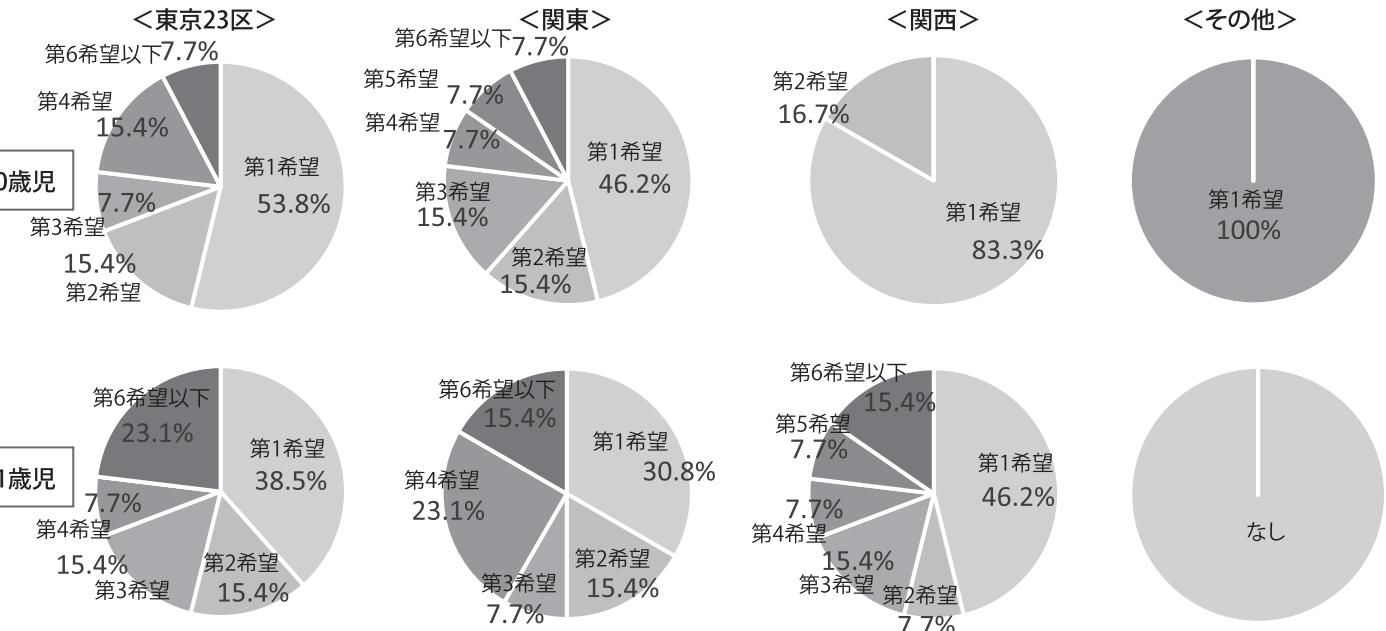
	関 東	関 西・その他の見学
見学	<p>早め早めの行動が自分たちを救いました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で見学会が完全予約制だったりして、予定が組みにくかったりしました。見学会を中止している保育所もありますが、中止していないところで行きたいと考えている保育所は必ず見学に行つた方が良いです。思っていたのと違うと感じた保育所もあったので、入ったあとに後悔しないようにするには、見学会が一番です（東京都足立区）。 <p>お迎えの時間帯に保育所近くでお散歩をし、送迎の様子を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でなかなか満足に保育所の見学会ができないかもしれません、保育所の近くの公園等に午前中に行ってみると、どのように園児たちと先生がかかわっているのか見ることができます。また、お迎えの時間帯ぐらいに保育所近くでお散歩をし、送迎のママさんやパパさんの様子を見る、可能であれば通わせている保護者から話を聞く、という方法でも園の雰囲気が分かると思います。実際にやってみて、自分と子どもに合いそうか、ということを感じ取ることができたので、ぜひやってみてください（東京都文京区）。 <p>妊娠中に散歩がてら、保育所の周辺を見に行く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中は体調が良ければ自由な時間がとりやすいので、周辺の保育施設のリストアップやその周辺を散歩がてら見に行くと良いと思います。見に行ってみたら意外と古そうだな、とか運が良ければ外で遊ぶ子どもたちや先生方を見ることができて普段の様子がわかるかもしれません（見学会時はよそ行きで雰囲気を良くしている部分もあると思うので）。園までの道も車通りはどうかな、などチェックしながら歩くと良いと思います（東京都武蔵野市）。 <p>見学前に重要視するポイントを明確にしておくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きコロナ禍での見学会となり、短時間の見学会であったり、エントランスのみの見学会となっていた保育所もありました。見学会前に重要視するポイントを明確にしておき、短い時間や限られた内容の中で保育所選びを進めることができると感じました。また見学会後にも確認したいことが出てくる場合もあるので、電話で問い合わせてよいか、一言確認しておくと良いと思いました（東京都江東区）。 <p>見学会は子どもが小さいうちに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学会は子どもを抱っこしながら30分～1時間程度立って行くことになるので、なるべく子どもが小さいうちにする方がお勧めです（東京都杉並区）。 	<p>保育所探しは、妊娠中にいかに下調べしておくかが肝心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産直後は、保育所のことに考えをめぐらす余裕がなく、毎日赤ちゃんのお世話で精一杯です。つわりなどで体調がよくない時期もあるかと思いますが、それが終わり、育休に入る頃に余裕をもって保育所見学会のスケジュールを立てたことが、自分の保活を振り返った時に良かった点かと思います。 <p>二度手間に感じるかもしれません、出産後に余裕ができた時期に赤ちゃんを連れて、もう一度保育所見学会に行くと、実際に保育所の送迎に行くイメージができ、妊娠中には気づきえなかっただけに、自分も気づくことができる、おすすめです。保活は早めの準備が成功への近道だと思うので、計画を立てて頑張ってみてください（奈良市）。</p> <p>保育士さんが仲良くしているか、安全対策がされているか確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で見学会できない施設でも希望施設に記入する場合は、電話で疑問点を質問しておくと少しは安心かと思います。保育所見学会の際は、保育士さんが仲良くしているか、子どもたちにはどのように接しているか、園内は安全対策されているか、ということを重視して見るようしました（大阪府豊中市）。 <p>早めに見学会の申し込みを</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍という事もあり、見学会が人数制限や見学会場所の制限（園内立ち入り不可で、入り口で先生からの説明のみという施設もありました）のある施設がほとんどでした。特に人数制限のある施設は見学会日程が1～2か月先になつたりしたので、申し込み期限との兼ね合いなども含めて早め早めの問い合わせをお勧めします（愛知県名古屋市）。 <p>非常時に子どもを守れるか、自分の目で厳しくチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模園は、雑居ビル内にあつたり、建屋構造が複雑だったりするので、本当に非常時に子どもを守れる環境か、必ず訪問して、自分の目で厳しくチェックした方が良いです（兵庫県西宮市）。 <p>できる限り、夫も一緒に見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期復職を目指す場合は、定期的に産前の体調の良いときから見学会に行くことをお勧めします。見学会はできる限り夫も巻き込んで夫婦で行くことをお勧めします（兵庫県西宮市）。 <p>最低でも通園路を確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり保育所の見学会は1施設も行いませんでしたが、候補施設は全て通園路を実際に歩いてベビーカーで通つたりしました。信号のない交差点を渡らないといけないところなどは、候補から外したりしましたので、最低でも通園路は確認することをお勧めします（大阪府高槻市）。
園長先生とのコミュニケーション		<p>園長先生にも決定権と裁量があるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所の最終入所の可否、入所先の園を決定するのは行政ですが、保育所の園長先生にもかなりの決定権と裁量があるようなので、あきらめずに園長先生とコミュニケーションをとるのがよいと思います（大阪市都島区）。 <p>園長先生に顔と名前を覚えてもらうことが有効</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認可の場合は点数で切られてしまいますが、認可外の場合は、複数回見学会に行って、園長先生に顔と名前を覚えてもらうことが有効だと感じました（兵庫県芦屋市）。

3. 2022年4月入所の保活についての概況

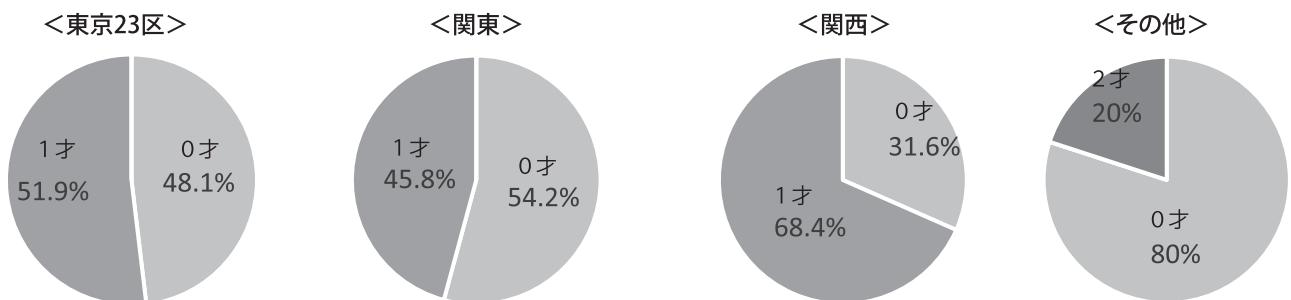
- 出生数の減少により、全体的には前年同様入所しやすかった
- 激戦区では、希望の保育所に入所しにくい状態が続いている
- 1歳児より0歳児の方が、希望の保育所に入所しやすい
- 認可外保育所や企業主導型保育所などは定員割れが発生し、閉園が増えてきている

【マザーネットの保活コンシェルジュサービスをご利用され、2022年4月に保育所に入所された方のデータ N=75】

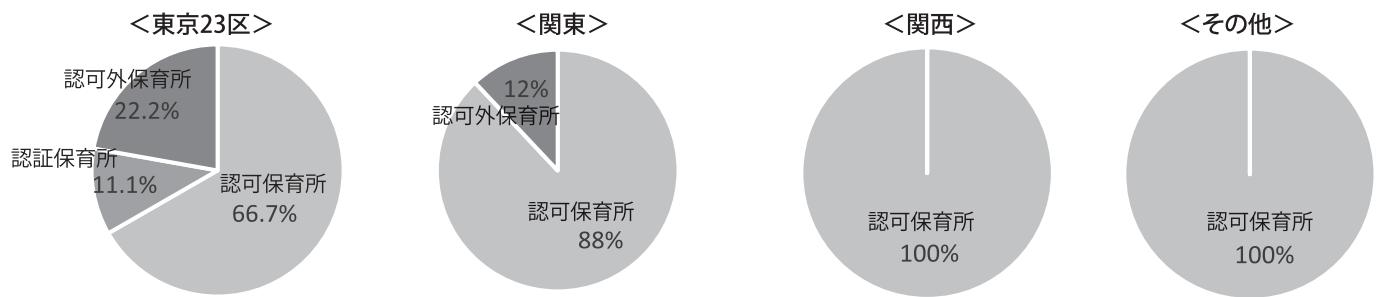
①第何希望の保育所に決まったか?



②入所した子どもの年齢は?



③入所したのは認可保育所?認証保育所?認可外保育所?



4. 今後の保活についての予測

- <2023年4月入所>
- コロナ禍で結婚・出産を控えていた人たちの出産ブームがやってくる
 - 激戦区は引き続き厳しい状態が続く
 - 2024年4月の1歳児は激戦が予測されるため、0歳児での入所をおすすめする

いかがでしたでしょうか。コロナの影響を受け、3年連続で希望の保育所に入所しやすい状態が続きました。今後は、コロナ前の厳しい水準に近づくことが予測されます。ここ数年入りやすかったからと油断することなく、早め早めに情報収集し、見学を行うことをおすすめしたいと思います(上田)。